

## 柏市産業振興戦略ビジョン（案）の修正について

## 第2回柏市産業振興会議における意見と対応

頁	意見	対応
<b>2. 現状と課題</b>		
32	「2）製造業の課題」において、コロナやウクライナ情勢によるエネルギーや資材等の高騰で製造業は苦しんでいる旨の追記が必要。	<p>（P33に次のとおり追加）</p> <p>⑤ 新型コロナウイルス感染症の影響の中長期化や、エネルギー・原材料価格の高騰等への対応</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大によるサプライチェーンへの影響や、ウクライナ情勢によるエネルギーや原材料価格の高騰等により、製造業にも大きな影響が生じています。</p> <p>事業環境が大きく変化している中、アフターコロナも見据え、今後の事業継続に向け、事業の再構築、販路拡大、デジタル化などの取り組みが求められており、そのような動きを支援していく必要があります。</p>
33	「3）農業の課題」において、コロナやウクライナ情勢によるエネルギーや資材等の高騰で農業も苦しんでいる旨の追記が必要。	<p>（P34に次のとおり追加）</p> <p>⑤ 新型コロナウイルス感染症の影響の中長期化や、エネルギー・肥料価格の高騰等への対応</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大による食生活の変化や、ウクライナ情勢によるエネルギーや肥料等の高騰により、農業にも大きな影響が生じています。</p> <p>農業の実状を踏まえながら、農業従事者の意向に応じたきめ細やかな支援をしていく必要があります。</p>
35	この章の中に「スタートアップの課題」がない。前提となる社会的な影響や情勢も含めて整理しておく必要がある。	「5）新たな多様な働き方」の中に記載していた「②創業について」を、「5）スタートアップの課題」という項目に独立させて記載（P35）。
<b>4. 各施策の取組</b>		
41	「戦略1」のAIやライフサイエンス分野の企業誘致についてはある程度成果が出ているので、今後は、それらの事業者が柏に残ってもらい、柏の代表的な企業になってもらえるような施策が必要。	「④スタートアップの集積」として、柏の葉で起業した企業が、市内で長期に渡って事業を継続することができるよう、用地情報の提供や、市内の民間インキュベーション施設に移転した場合には賃料の一部を補助するなどの支援策を検討すること、起業家同士のネットワークの構築や、起業における様々な問題を相談できる窓口の設置などの支援を実施していくことを記載（P42）。

頁	意見	対応
<b>全体について</b>		
	改定年次の標記をどうするか。	策定年次（平成31年3月）に改訂年次を併記する →「平成31年3月策定 令和5年●月改訂」（表紙）
41	「戦略1」の今後の検討事業例①に「AI, IOT, ビッグデータ企業の誘致」とあるが、現在は策定当時と認識が変わっている。AI, IOT, ビッグデータはもはや「分野」ではなく各産業の中で関わっていく技術になっている。	今回の改訂は、第2回会議における説明（本日の会議資料3）のとおり、ビジョンの骨格はそのままとした上で、市の総合計画の計画期間との整合や、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえて課題や施策の取組を整理し、計画期間を2年延長するもの。  既に古くなっている情報が含まれているという指摘はまさにその通りだが、現ビジョンを策定する際に基礎となった統計等の情報や各資料については、今回の部分的な改訂ではなく、2年後の全面改定の際に整理することとさせていただきたい。
	<p>現ビジョンには既に古くなっている情報が含まれている。読む人が混乱しないよう、そこをわかるようにする必要がある。</p> <p>国の施策の紹介記事など、既に古くなってしまった情報は削除した方が良い。</p>	